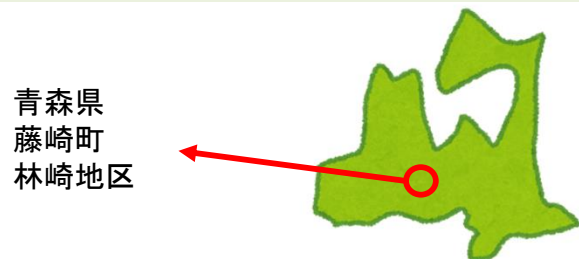


産地パワーアップ事業の取組事例(28年度:計画作成主体:藤崎町担い手育成総合支援協議会)(青森県)

取組の概要

対象品目 : 果樹(りんご)(産地面積:45.6ha)
 主な取組主体: 林崎防除組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 (10a当たりの販売額)
 基準(H27年度)作付面積 : 39.7ha
 りんごの販売額 : 559,810円/10a
 目標(H30年度)作付面積 : 45.6ha
 りんごの販売額 : 615,885円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業
 (機械リース スピードスプレーヤー 4台)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

りんごの販売額10%以上増加の実現に向け、取組主体(林崎防除組合)が地域の関係者(町、県、JAつがる弘前等)と一体となって栽培方法の改善や面積の拡大に取り組むことによって高付加価値りんごを生産し、そのブランド化を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ① 交信かく乱剤設置とりんごIPM技術を組み合わせた減農薬栽培への取り組み
- ② 防除受託面積拡大による交信かく乱剤設置効果の増進
- ③ エコファーマー認証取得者の増加
- ④ 高性能スピードスプレーヤーによる効果的な防除による商品化率向上

産地体制

町、県、農協等

- ・減農薬栽培等の指導
- ・認証取得への取り組み指導

実需者

指導・助言



林崎共同防除組合

機械リース(スピードスプレーヤー)

- ・共同防除による品質向上
- ・減農薬栽培による高付加価値化



需要に応じた供給

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- りんご産地としての競争力強化を図るため、園地の若返りや消費者ニーズの高い品種への更新等に取り組む
- 町による果樹共済加入農業者への共済掛金の一部補助、交信攪乱剤設置に係る経費や対象病害虫の発生状況調査等への補助を実施

取組成果

【事業実施による効果】

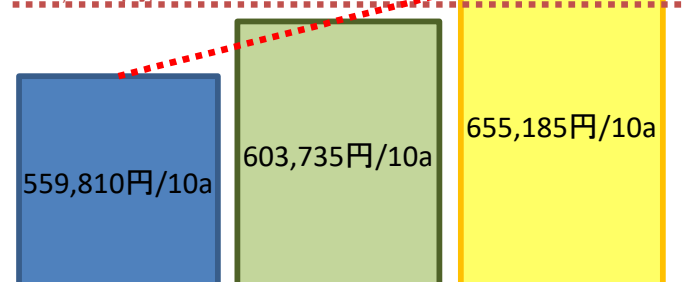
- 高性能スピードスプレーヤーの導入により、効果的な防除ができたと共に、減農薬やエコファーマー認証に取り組むことにより、販売額増加を実現
- 高品質、高付加価値のりんご生産につながり、産地が強化



**販売額が
17%増加
(達成率170%)**

目標値

615,885円/10a



H27年度
(基準年)

H29年度
実績値 (販売額)

H30年度
(目標年)